

学校図書館のチカラを 子どもたちのチカラに ……ここに、未来への扉

どの学校にも必ずある「学校図書館」。
しかし子どもたちの“学びの活動”の中で、
学校図書館は、
まだまだ十分に活用されているとはいえません。
また、子どもたちのためにもっと使いたくても、
十分に整備されていない学校図書館もあります。
学校図書館をよりよいものとし、
子どもたちの“学びの環境”を、
もっと充実させる方法を、みんなで考えてみませんか？

私たちは、
子どもたちの読書活動を
応援します。

[子どもの「読む・調べる」習慣の確立に向けて]
文部科学省・子どもの読書サポーターズ会議

ホームページは

読む・調べる

検索

あなたの街の学校図書整備状況もチェック！

自由な読書活動の場として、学びの場として、 学校図書館は、子どもの育ちを支える重要な拠点です。

読書センターとして

多くの人との出会いが、その人の成長を促すように、様々な本との出会いは、子どもの心を育て、人生をより深く生きる力を与えてくれます。

このような子どもの読書活動を支えるのが、各学校に置かれる学校図書館です。

学習・情報センターとして

変化の激しいこれからの社会を担う子どもたちには、基礎的な知識・技能とともに、それらを活用して、さまざまな問題に積極的に対応していける力を付けていくことが重要です。

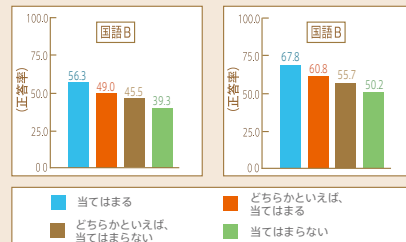
このような力を育む上で、学校図書館を計画的に活用していくことが、より一層大切になります。

CHECK!

学力調査の結果から見た 学力と読書

文部科学省の全国学力・学習状況調査では、読書が好きな児童生徒の方が、国語の問題での正答率が高い傾向が見られました。

小学6年生「読書は好きですか」 中学3年生「読書は好きですか」



学校図書館は、一人一人の子どもたちが大切な本との出会いをかなえる場所。
しかし、そんな学校図書館に置かれる本の整備は、
これまでのところ、必ずしも十分に進んでいるとはいえません。

☆ 学校図書館図書標準[※]を達成している学校の割合は、
小学校で42.0%、中学校で36.8%に
とどまっています。(18年度末現在)

TOPICS!

学校図書館図書整備5か年計画

公立学校における図書整備が進むよう、国においては、「学校図書館図書整備5か年計画」を定め、平成19～23年度の5年間に、単年度で約200億円、総額約1,000億円の地方財政措置を講じることとしています。

- ☆ ただし、これらの措置は、用途を制限しない一般財源措置であり、その財源を実際に図書購入費に充てるかどうかは、最終的には、各市町村等ごとの予算編成に委ねられます。
- ☆ 平成19年度においては、地方財政措置額が約200億円であったのに対し、市町村等における図書整備費予算の総額は、約156億円(予算措置率:78.0%)でした。

※学校図書館図書標準：小・中学校の学校図書館の蔵書について、文部科学省が定めた整備目標
(例えば、18学級の小学校では10,360冊、15学級の中学校では12,160冊)



本の世界へ誘う案内役となる専門の職員がいることで、
学校図書館は、より一層、その機能を発揮することとなります。



- ☆ 学校図書館の専門的職務をつかさどる「司書教諭」を置いている学校は、法律に基づく配置の義務付けが猶予されている11学級以下の学校を含めると、いまだ全体の6割程度となっています。
- ☆ 学校図書館の諸事務に当たるいわゆる「学校司書」を配置したり、ボランティアの協力を得たりして、多様な読書活動の企画・実施や、図書館サービスの改善等を図っていくことも有効です。